

特集・53年度予算とあなたの
不況でも少しずつ前進(2)

幕別小統合校舎 で見学会

「先生、これなに？」▶



▶「四月からはこのピカピカの部屋が君たちの教室だ。大事に使おうね。」



待ちに待った幕別小学校統合校舎が完成し、三月十五日に見学会が行われました。

この日、真新しい校舎の門をくぐったのは幕別小学校の一年生と二年生の全員。この見学会は、四月から開校する新しい校舎に慣れでもらおうと計画されたもので、子供たちは、明るい近代的な学校に目を見張り、先生の説明にも自分たちがこの学校ではじめて勉強することになる喜びを体全体で表現していました。(十五ページに統合される四校の歴史を紹介してありますのでご覧ください)

広報 No.315

1978. 4. 1

まくべつ

発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555) 4-2111
編集・町民課広報広聴係 ☎内線108 印刷・ソーゴ印刷

不況でも少しずつ前進

53年度の予算——全部で62億9,147万1千円。

定例第一回町議会が三月十一日に開かれ、昭和五十三年年度の予算その他を審議しました。昭和五十三年年度の予算は一般会計、特別会計、事業会計をあわせると総額六十二億九千四百四十七万一千円と、昭和五十二年の当初予算より二八・七%の伸びをみせています。昭和五十三年年度に実施する主な事業などを特集しました。(二一十一ページ)

生活と生産の 調和がとれた地域社会へ



町長 大石 忠夫

昭和五十三年度の町づくりを進めるにあたり、町政執行にたいする所信と基本的な考え方をよ

び予算の概要について、ご説明いたします。私が町長として町政を担当させていただきます。ただきましてから四年目を迎えました。この間、総合計画の基本理念であり、また「生活と生産の調和」する地域社会の創造を目ざし「住みよい町づくり」「あたたかい町づくり」「豊かな町づくり」「明日への町づくり」の四点を重点目標に、議会をはじめ町民の皆さんのご協力により町政の推進につとめてまいりました。

責務であると考え、最善の努力をいたす決意であります。さて、本町の財政見通しであります。ここ数年、財源不足の状態から脱しきれず、補助、起債に依存せざるを得ない現状にありますが、いづれにいたしましても町政は財源不足を理由に後退は許されるものではありません。新年度予算の執行にあたっては景気の動向に留意しながら健全財政を維持し得るよう努力してまいります。

事務機構が
変わります

開発商工課を新設

効果的な事務処理と合理化をはかるため、事務機構の一部を変更し、新年度から実施することになりました。

今までは総務部、産業建設部の二部でしたが、新たに経済部を設けて三部制とします。この経済部の設置にとり、産業建設部を建設部と名称を変更します。

経済部の新設にとり、経済部には農林課(産業課を廃止)と、新年度から新設します。開発商工課、それに幕別温泉が所属します。

建設部に所属する課のうち、都市計画課区画整理係が、事業の本格化と事業量の増大から、新たに区画整理事務所として独立し、事務所を札内消防庁舎二階に設けます。

なお、建築課は廃止し、都市計画課に統合します。

「心」の領域にも 目をむける教育行政に



教育委員長 黒川 喜雄

昨年は、日本の教育制度に大きな変革をもたらした新教育制度、六・三制が発足してから三

十年を迎え、町内各中学校では、それぞれ記念の式典を開催いたしました。戦後の荒廃の中において、校舎もなく、教科書もなく、教材なども、まったく先生方の手作りであり、グラウンドの整備も先生と生徒、更にPTAの奉仕で一步一步進められた当時を感無量で想いおこしました。

しかし、この苦難の中で育った子供たちが日本の復興の推進力になってくれたことを思います。教育の真の姿、教育のあり方に、私たちは大きな示唆を与えられるような気がいたしました。行政も地域住民も、教師も生徒も、乏しい中で心をあわせ、力を出しあって打込んだ熱意と努力の中に、教育の本当のあり方を見る思いがいたします。あまりにも物質的に恵まれすぎた現代社会、みずからの努力で道を開こうとするパイオニア精神、苦難をのりこえて得られる真の喜びを知る心、郷土の自然と少年時代の友情が一生を支え励ましてくれる大切なものであること。これらをこれからの幕別の教育の大きな課題として取組んでいきます。

住みよい町づくり、生活環境の向上に全力投球

道路

広い道、細い道、いろいろな道が町を網の目のように走っています。どれも私たちの生活を支える大切なもの。町では今年も舗装工事、改良工事を積極的に進めていきます。

基幹町道で今年度新たに工事に入るのは、幕別札内線の改良（猿別市街（稲志別）、新川三十号線と西猿別高台線の整備、軍岡大豊線の舗装です。また継続事業としては、軍岡大豊線と千住十五号線の凍雪害防止工事、日新線の舗装、幕別札内線（札内（稲志別）の舗装、札内千住線と千住豊岡線の舗装を昨年引き続き実施します。

市街地内の整備で新たに舗装を予定しているのは、幕別鉄道東沿線、幕別本通り歩道、幕別東二条通り歩道、



道路は私たちの生活を支える大切なもの、その整備に全力投球

札内青葉団地道路です。また継続事業では千代田通り街路、南町団地道路、宝町団地道路、札内西団地道路の舗装を、改良工事は札内曉町西通りを予定しています。

なお、地方道整備事業債の枠が増加された場合は、これらのほかにもさらにできるだけ多くの道路整備をする考えです。

道が今年度予定している道路整備は明倫幕別停車場線（新田牧場付近で凍

雪害防止工事二千メートル、西猿別の坂付近で特殊改良工事八百メートル、明倫地区で舗装三千メートルと尾田豊頃停車場線（駒島地区で凍雪害防止工事千五百メートル）となっています。

町道の維持管理は、車両の計画的な運行を計って砂利敷きなどの日数を増加するようにします。

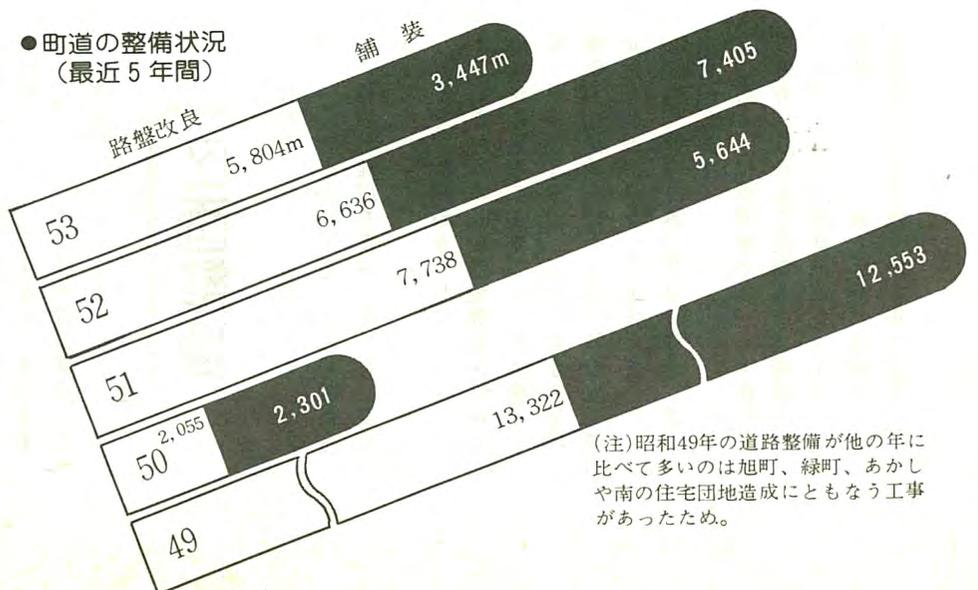
住宅

町民みんなが良い環境の中で暮らせるよう宅地造成や公営住宅の建設は町づくりの大きな柱です。

札内のあかしや南団地には昨年着工した町営四階建一棟二十四戸が七月下旬に完成します。また、道も今年度さらに一棟二十四戸の建設を計画しています。住宅供給公社が行っている積立分譲住宅は今年度十八戸が建設されることになっています。これらの建設計画によってあかしや南団地はほとんど空きがなくなり、二千二百人が暮らす街になります。

昨年、市街化区域に決定した緑町は開発公社が今年度、完地造成を行います。用地は四・七六畝で、公営住宅三

●町道の整備状況（最近5年間）



(注)昭和49年の道路整備が他の年に比べて多いのは旭町、緑町、あかしや南の住宅団地造成にともなう工事があったため。

十区画（百二十戸分）、教員住宅十二区画、積立分譲住宅三十二区画、一般分譲住宅三十一区画とする予定です。緑町の公営住宅建設は昨年引き続き今年度も四棟十六戸を計画しています。札内桂町の市街化区域に編入された部分は財源などの理由から来年度以降に宅地造成をする予定です。

このほか、建設してから年数がたっている公営住宅の改修を進め生活環境を少しでもよいものにしていきます。

公園



身近に憩の場を——町は公園のネットワークを計画的に進めています

明野が丘総合公園は都市公園の指定を受けたため、今年度から補助事業で本格的に造成を始めます。(今年の支出の主なものは用地の買収)造成の間は五年位をメドとしています。

南町公園は今年度、用地買収を行い来年度から造成を進める計画です。

また、幕別運動公園は昨年度で補助事業のすべてが終わりましたが、今年度は町の単独事業で自由広場、管理棟などをつくり、みなさんがさらに使いやすいものになります。

昨年、環境庁から国民保養温泉地に指定された幕別温泉ホテル付近の一带は、今年度から国と道の補助を受けて整備を進めます。今年度は遊歩道と広場の造成を予定しており、年次的に国民保養温泉地として内容の充実をめざします。将来は名実ともに町民の憩いの場として、また広く町外からの利用も期待できます。

水道

水道は昨年度で第一次拡張事業を終え、給水区域内は計画通りの給水体制が確保できました。きれいでおいしい水を毎日、豊富にあなたの家庭にお届けします。

今年度は新しい配水管と古い配水管の接続点の点検整備と、団地造成が実施される地区の配水管の布設などを行います。

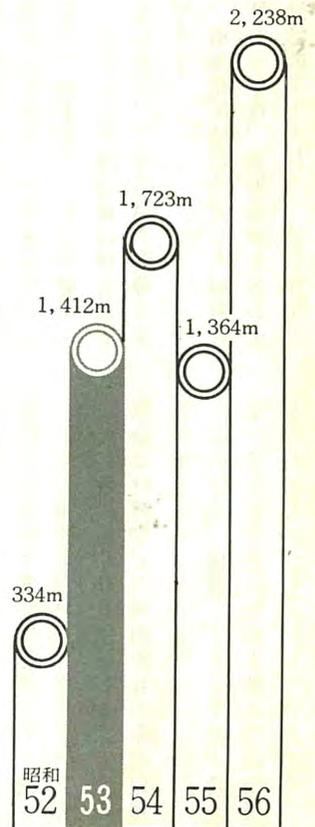
また、給水戸数は当初計画よりもかなり伸び悩んでいる現状ですが、「この町にも負けない上質の水」という点をPRしながら上水道の普及に努める考えです。

● 上水道は2万人分の水を確保

給水能力(1日)
6,500トン
20,000人



● 下水道計画 (管渠の布設延長距離)



下水道

私たちの生活環境を見えないところから支える公共下水道事業は今年で四年目を迎え、ますます本格化します。幕別市街は全体計画を十六年とし、二期に分けて実施し、昭和五十八年には八八・三鈴(本町・幸町・寿町・錦町の全部と旭町の一部)で処理が始められるように努力します。国の景気浮揚対策などの一環として補助事業も大幅に伸びてきており、これに伴う町の単独事業も伸びます。

補助事業は管理棟の土木工事、管渠(汚水幹線)の延長を昨年に引き続き行います。町が単独で進めている汚水枝線工事は将来の下水処理開始に結ぶものであるため、補助事業と並行して旭町から進めます。

区画整理

札内地区の今後の発展のためには北地区(札内市街の国道三十八号線から北)の都市環境を整備しなければなりません。

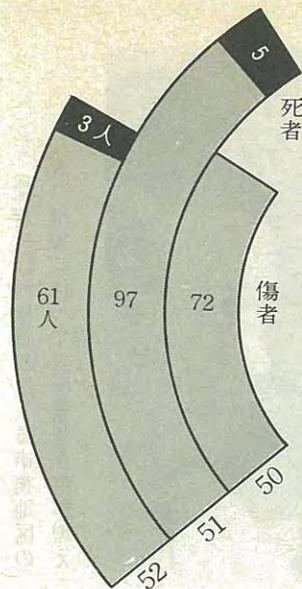
そこで、街がわかりやすく、住みやすくするための区画整理事業を昭和五十年から進めてきました。区画整理を行う面積は九十畝、このうち今年度は昨年調査測量を終えた五十畝の地区界測量と換地設計を行います。また昨年の調査で残った四十畝は今年度、調査測量をします。

このように事業が今年から本格化するため、これまで役場都市計画課の中に設けていた区画整理係を「区画整理事務所」として独立させ、事務所を消防署札内出張所の二階に置きます。

交通安全

町民あげて交通安全のボランティア活動が展開され、安全への認識が高まってきています。しかしその反面、昨年の事故発生件数は四十四件、死者三名、傷者六十一名という悲しい現実が続いています。

町はより一層の交通安全施設の拡充



を図るため、歩道の設置や危険地帯の点検と安全対策の実施に努めます。交通事故を絶滅するには、町をはじめとした行政機関が安全対策を進めるのももちろんですが、町民のみならず一人の安全への認識も同時に大切なことです。また、札内に住むみなさんが待望していた札内駅人道線橋を今年度つくります。これによって鉄道線路横断による危険が解消されます。

近隣センター

それぞれの地域の集会施設として、たくさん利用がある近隣センターは今年度もそのネットワークをさらに広げます。

西猿別に一カ所を新設、大豊地区には改築による新設一カ所、そして南勢



コミュニティの場として利用される近隣センター

近隣センターの改修工事をします。これによって、町内の集会施設は公民館などを含めると二十八カ所、町民七百人に一カ所の割合になります。このほかにも各地区から設置の要望が多くあります。数多い要望に一度には応えられませんので補助事業などによる設置を今後も進めます。

あたたかいかい町づくり、一人一人の幸せと健康を願って

福祉

福祉は、一人一人の生活の保障と生きがいの追求であり、自立と相互扶助の精神が基本です。福祉施策はそれを

必要とするみなさんそれぞれに適切な方法を常に用意していることが必要と考えて町政を進めています。

しかし、現在の福祉施策が必ずしもみなさんにとって満足できる状態だとは考えていません。とはいっても、後の許されない福祉施策を前進させよ

うと努めています。財政状態などの理由から思うにまかせません。また、福祉は行政施策だけではどうしても限度があります。つまり福祉は物心両面から展開しなければなりません。行政の側から「心」の援助となる限りがあるのです。そこでみなさ

んの善意と各分野でのボランティア活動を心から期待します。本町の福祉の輪は、地域のみならずのあたたか心から広がっていきます。

肢体不自由児に

通園費と訓練費の補助を

おとしよりや心身障害者の方、母子家庭、低所得世帯への施策は前年度と同じく引き続き実施します。

今年度は新たに肢体不自由児、言語障害児、自閉症などで施設に通園しているお子さんへ補助を始めます。訓練費や通園費が年々高額になり、親にとって精神的な悩みと共に経済的な負担が大きくなっています。そこで町政ができる限りのバックアップをしようとして訓練費と通園費の全額補助をすることにしたものです。

この制度についてのお問い合わせは役場民生課へ。☎4-2111(内線110)

特別養護老人ホームができます

かねてから幕別町に設置の要請があった福祉法人による特別養護老人ホームが今年度、補助を受ける見込みがつかれました。

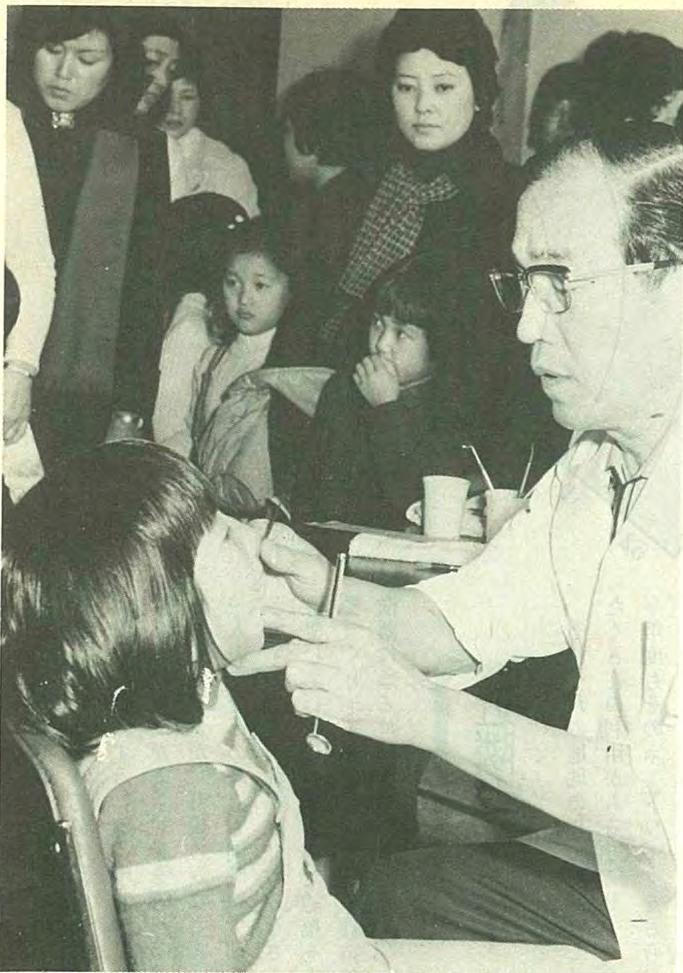
ただしこれは町が運営するのではなく、福祉法人として民間の手で運営されます。新築工事は十勝愛育園北側で六月から始まり、十一月に完成予定とのこと。幕別町の福祉向上はもちろんのこと、入所を希望する人たちにとつても明るい光といえましょう。

町立幼稚園の開園で 保育所の入所難を緩和

旧幕別小学校校舎を仮園舎に町立幼稚園を今月から開園します。これに伴って幕別地区の保育所の入所はかなり緩和されることと思います。札内地区は幼児数が多く既設の私立幼稚園への入園を奨励するだけでは根本的な解決は望めません。将来的には幼稚園の増設も含めて対策を練っていきます。

なお、札内の私立幼稚園に入園する場合に、町立幼稚園に入のお子さんを待つ家庭と負担の格差が生じるため補助金を出す制度を新設して不公平を是正します。

保育所は団地造成による市街地区の人口増加に伴って入所希望が毎年増え



虫歯のお子さんがふえています。歯の健康も忘れずに

続けています。

入所希望のお子さん全員を入所させることは現状では困難です。そのため比較的理由の薄い場合は入所をお断わりしていますが、できるだけ多くの希望に応えようという考えから今年も札内のあかしや保育所を臨時開設して要望に答えます。

保健

私たちが明るく幸せな毎日を過ごすには心身共に健康であることが最も大切です。町民一人一人が自ら進んで心身を鍛え、健康づくりに努めることを希望します。

町も町内の開業医の方の協力を得な

がら保健活動を通じ、みなさんの健康管理と疾病の予防に最善をつくします。

成人病の 予防に重点を置いて

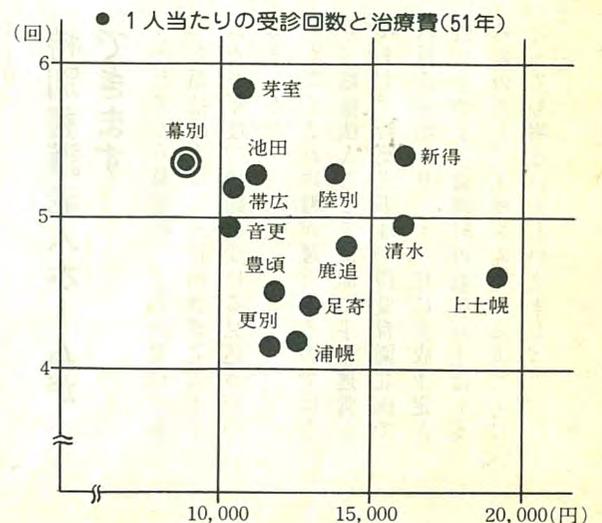
昨年亡くなられた方の死亡原因は、脳血管疾患(二十六人)、心疾患(二十四人)、悪性新生物(一がんと十三人)の三つが全体のほぼ七割を占めています。これらは成人病といわれています。

町は成人病予防のための各種検診を今年も意欲的に行います。日程は毎月二回(十五日と月末)に発行している「おしらせ」に載っていますから、忘れずに検診を受けてください。

このように健康を害する前に早期発見し治療することを目的に施策を進めています。私たちがいつ、どこで、どんなことに会おうかわかりません。休日と夜間の医療体制は今年も引き続き、町内の開業医のみなさんの協力で万全を期します。(当番医院は毎月三十日発行の「おしらせ」を見てくださ

早期発見で 町民の健康を守る

幕別町はよその町に比べると医師にかかると回数が多い反面、一人当たりの治療費は十勝管内で一番少なくなっています。このことは自分から進んで健康を守る、早期発見、早期治療の考え方が定着しているからといえます。幕別町は一人当たりになると、年に五・三回医師にかかり九千七百七十六円の治療



費がかかっています。これは老人医療費に限って見ても同じような傾向があります。(右の図参照)

生活資金

たくさん利用がある勤労者生活資金貸付制度は、五年目を迎えました。失業保険で九十日支給だったものが雇用保険となつて五十日給付となったため、よりいっそうこの制度の重要性が増しました。また不況が長びいて冬場の仕事も限られているところから、基金を百万円増額して貸付限度額を八万円から十万円に引き上げました。(くわしいことは役場開発商工課へ)

北海道の実情にはそぐわない雇用保険法の改正については、今後も引き続き粘り強く関係機関に要望をさせていただきます。

豊かな町づくり、農業を大切に商工業の発展を

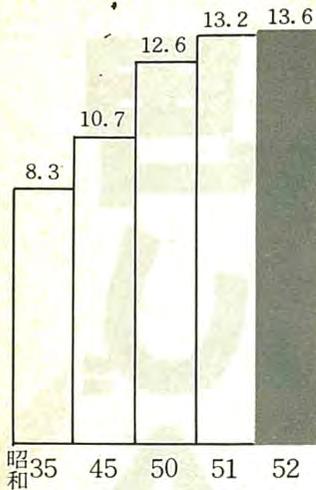
農業

国内の農産物、特に穀物受給率が低いところから北海道の農業は重要な地位にあるといわれます。しかし現実には農業をとりまく情勢は年を追うごとに厳しくなっています。中でも農産物価格の低迷と米の生産調整による水田の転作、農産物の輸入問題など農家のみなさんの不安はますます高まっています。

これらの対策の一環として、土地基盤整備事業を推進し経営条件の確立や営農指導などを充実させて安定した農業経営をめざします。

土地基盤整備やこれに関連する農道の整備は事業費が高額なうえに長期間

● 1戸当たりの耕地面積(単位ha)



かかる仕事なので、国や道の施策に依存しなければなりません。関係省庁に対し事業の早期着手と早期完成を働きかけていきます。

国営土地改良事業

駒畠(今年度で終了)・古舞地区農地開発事業と、古舞・茂発谷・新川・相川・上以平地区の直轄明渠排水事業が継続され予算も大幅に伸びています。また、幕別地区(千住・相川)畑地かんがい排水事業も引き続き全体計画が進められ、昭和五十五年度の事業開始に期待がもたれます。

道営土地開発事業

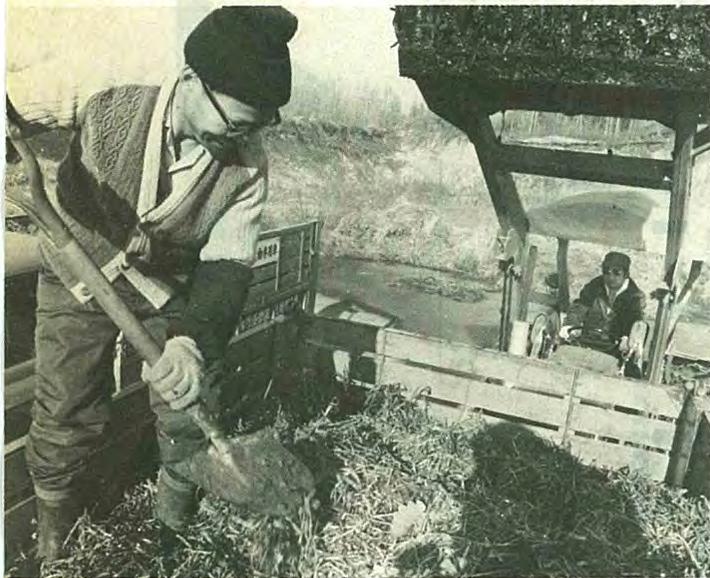
新たに糠内第二地区畑総事業が始まります。昨年度に引き続き、大豊地区開拓農道補修、西糠内地区農免農道整備、軍岡、猿別、西糠内明渠排水事業、南勢地区畑総事業です。また、軍岡北地区明渠排水と大豊第二地区開拓農道補修の調査計画が実施されます。

町でも高効率畑総経

管確立対策、てん菜増産振興対策、麦作乾燥調整施設の設置など農業構造改善に必要な施策の導入を図ります。

野菜生産地域の集団化で有利に販売

また、町の単独事業で地域野菜生産育成のための貸付金制度を実施します。これは野菜生産地域を集団化することで、個人出荷から系統出荷に切りかえて有利に販売しようとするものです。



安定した農業経営をめざして土地基盤整備事業を

農業生産を支える農道整備も今年度新たに相川南第二農道整備と千住農道の改良、豊岡農道の簡易舗装を行います。そのほか継続事業として豊岡、相川南、途別北、南川西農道の整備を進めます。

なお、当初予算には計上していませんが補助決定があれば地域農政特別事業(てん菜振興)を実施します。酪農振興のためには、飼料作物生産振興対策、酪農近代化団地育成事業を推進すると共に、酪農私道整備のための補助を今年度も引き続き実施していきます。

商工業

商工業は町の経済活動の中で重要な役割をもっています。しかし現実には長期的な不況と帯広への大型店進出の影響などで沈滞しています。

今年度はこれらに対処するため、商店街診断を行い経営の改善と合理化に役立たせたいと考えています。この調査結果の分析はまともであり、ぜひ広報を通じてお知らせしますので、それをもとに私たちの町の商工業の未来をみんなで考えましょう。

今年も小規模企業対策資金貸付や利子補給を実施するとともに、企業の体質を強化するために商工会活動を援助します。なお小規模企業振興資金はお貸しする金額の限度を四十万円から五十万円に引き上げます。

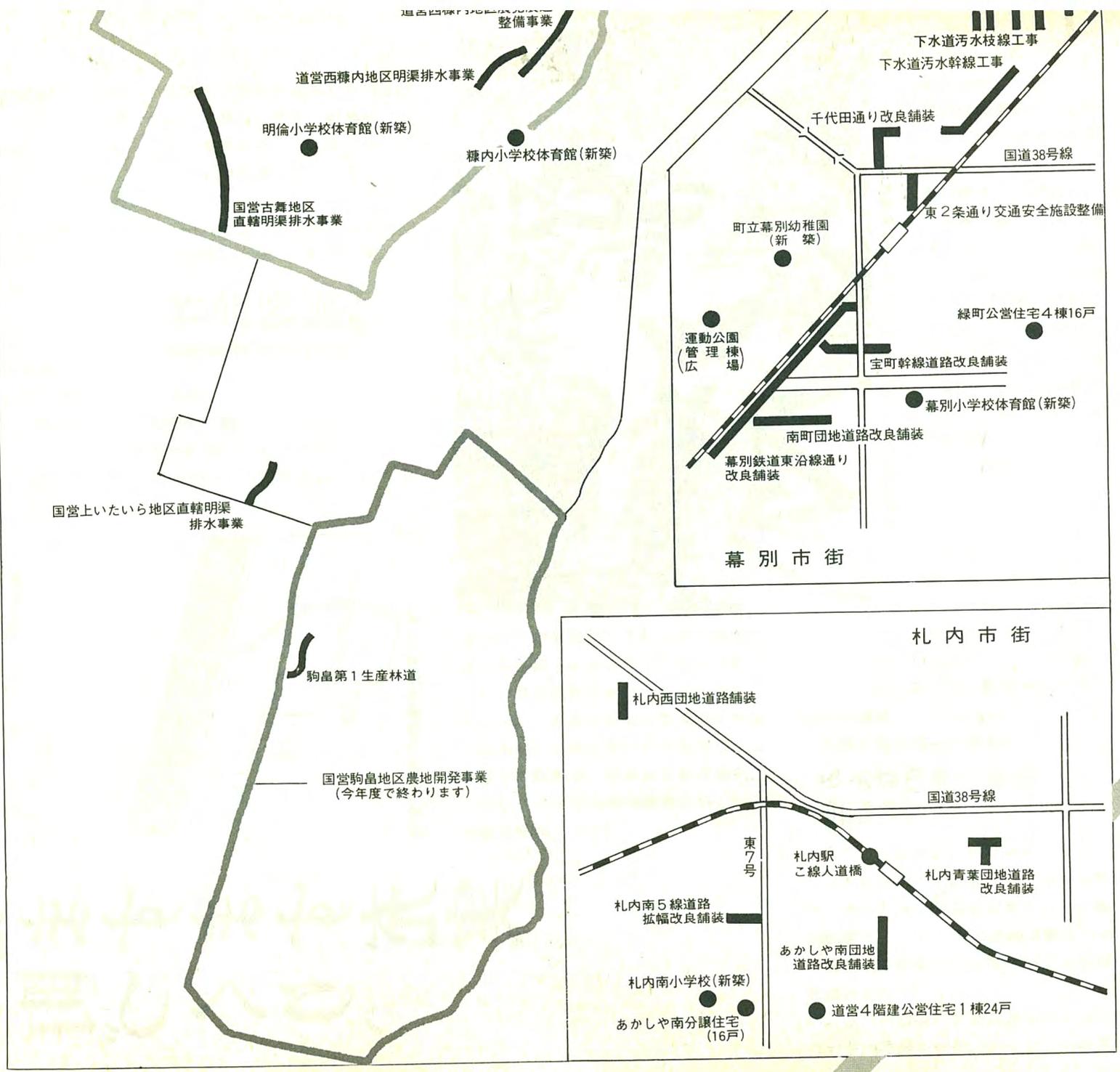
(10ページへつづく)

町づくりマップ '78



春の交通安全道民総ぐるみ運動

● 4月6日 ↓ 15日



明日への町づくり、 教育環境ますます充実

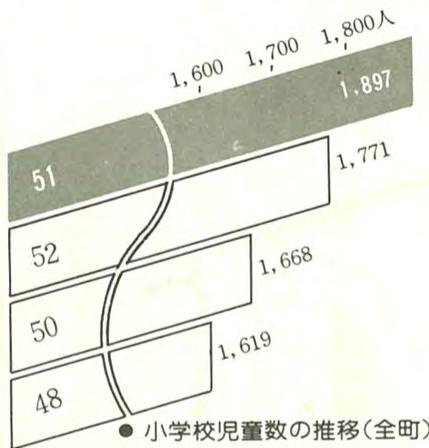
生まれてから老後までゆとりと充実のある生活が送れるよう学校教育、社会教育、家庭教育がそれぞれの機能を發揮できるように教育の質的な転換を図っていきます。このことを基本にして今年度の教育行政の方針をつくりました。

学校教育

今年度の教育予算は十一億七千十五万六千円で、前年度に比べ三〇%、二億七千二十七万一千円と大幅に増額しました。

明倫、棟内、幕別統合小学校の屋内運動場、札内南小学校の建設、町立幼稚園の新園舎など今年度は学校教育のための建築ラッシュです。(くわしいことは八〜九ページの町づくりマップをご覧ください) 棟内と明倫に建てる屋内運動場は地域のみなさんにも自由に使っていただきますので、体力の向上、健康増進などに大いに役立ててください。

町立幼稚園の開園に伴って札内の私立幼稚園に入る場合との間に、負担の格差が生じます。そこで私立幼稚園に



入園するお子さんに就園奨励金と入園補助金を補助します。お問い合わせは教育委員会(☎4-2006)へ、詳しくご説明します。

社会教育

「生涯教育を充実し、豊かな地域づくり」——これが社会教育の大きな目標です。

ひと口に社会教育といっても広範囲で、しかも複雑多岐にわたります。幼児、青少年、婦人、成年、高齢者に至るまで町民それぞれが満足できる学習

の場を用意します。

また今日大きな社会問題になっている青少年問題は、指導者の育成強化、生活指導、学習やサークル活動のバックアップ、地域子供会の育成などを通じて行政の役割を果たしていきます。青少年の健全育成は私たち大人の側が自らの日常生活について反省し見直す

ことから始まります。そういった意味では決して行政だけでは解決できない問題です。

昭和五十年から実施している生涯学習海外セミナーへの派遣は継続します。そして婦人団体の活動がより一層活発化することを期待して、今年度新たに国内研修も考えています。

生涯教育を みんなの手で展開

町民の体力向上と健康増進も町政の大きな課題のひとつです。スポーツセンター、学校体育館の開放を活用して日常の生活の中で気軽にできるスポーツ、レクリエーションの助長と普及に努めます。また季節を問わずにこれらができるようにするのも今年度の大きな課題と考えます。

町民みんなが健康で暮らせるように、体力づくりも大切な施策

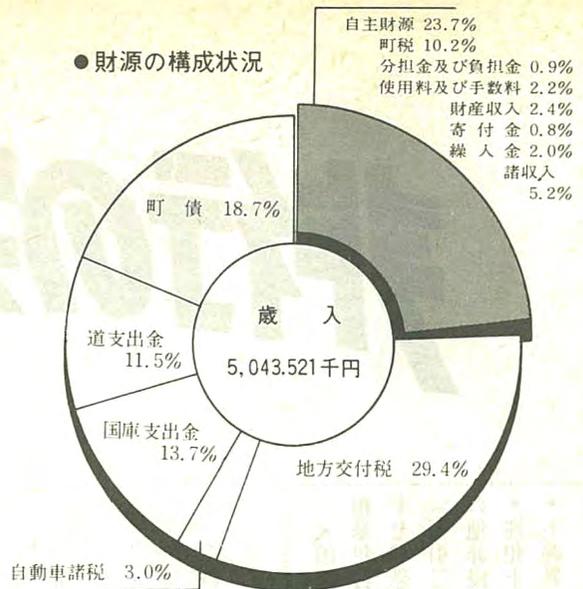


社会教育は幕別に住む一人一人の心の結びつきが一番大切であると思います。社会教育活動の推進にあつては行政だけが舞台作りをするのではなく民間の力、ボランティア活動を大切にしていきます。行政主導から住民主導に移行して初めて、私たち一人一人にとつて手ごたえのある生涯教育が展開するものと考えます。

財源不足は ことしも続く

向財おの始全

●財源の構成状況



不況の中で 厳しい財政状態

不況はさらに長期化の様相をみせています。

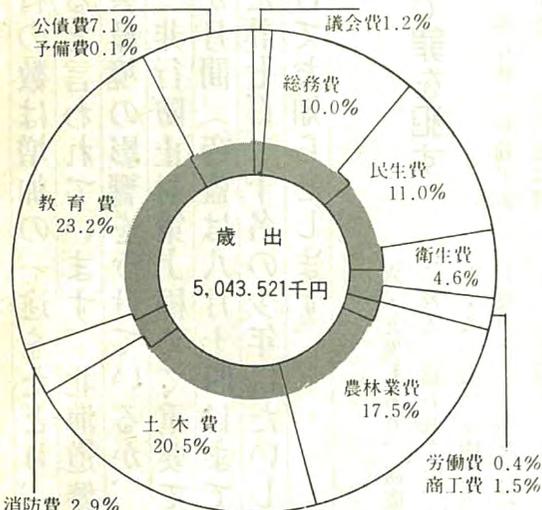
こうした情勢の中で、国の予算は大规模な国債発行などで公共事業費を増加し、景気の浮場を図る異例な予算編成になっています。

また、地方公共団体では現在の財政危機を打開するために、地方交付税の改正、超過負担の解消をはじめとする財政確立のための措置を強く要望してきました。一部で多少の手直しはあったものの、抜本的な解決策とはなっていないので今後も地方財政確立のための要望を強めていきます。

幕別町の財政見通しは、数年来引き続いている財源不足から脱しきれず、今年度も補助と起債に依存しなければならぬ状態です。

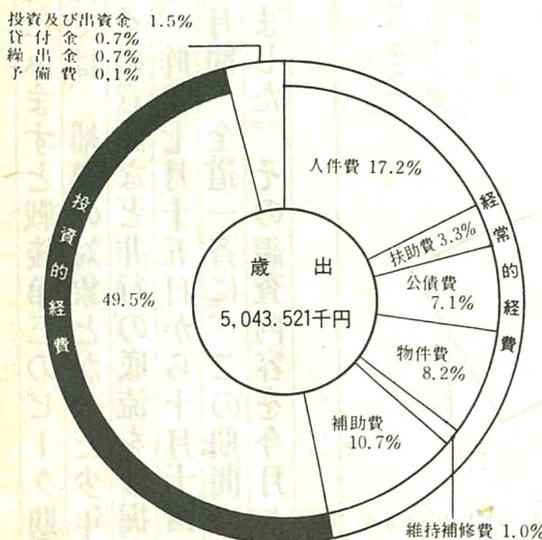
町財政の中で重要な財源である町税は、農業収入の減少もあって前年度（収入見込額）に比べわずかな伸びにとどまるものと予想しています。

なお、負担金や使用料などの引き上げは住民



●歳出の内訳（目的別）

…内側の円グラフは前年度当初予算の内訳



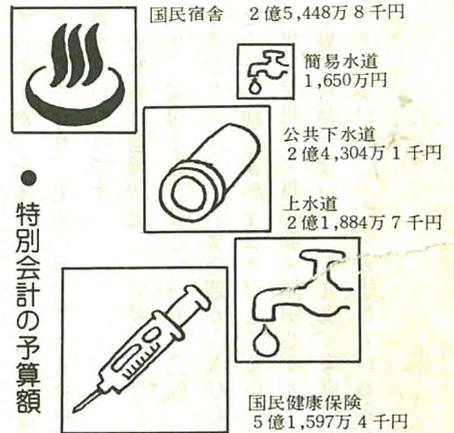
●歳出の性質別内訳

特別財源である国・道支出金および地方債は、国の予算編成方針（公共事

事業は総合計画を基本に 急ぐものから先に

負担の増加をもたらすため極力さげなければならぬと考えています。しかし一部は改定せざるをえない状況にあることをご理解ください。

●特別会計の予算額



業費の大幅増加に伴って大幅な伸びを見込んでいます。これでもなお不足する財源に対処するために、財政調整資金、教育施設建設基金あわせて一億円の支消を予定しています。

今年度の予算編成は財源の効率的な運用を最重点とし、一般経常費の節減を図りました。また事業は町総合計画の完遂と新規事業でも緊急を要する事業とを考慮して編成しました。一般会計は五十億四千三百五十二万一千円、特別会計をあわせると六十二億九千四百七十一万一千円の大規模予算です。（前年度当初予算に比べ二八・七%増）

いづれにしても、財政は財源不足を理由にして後退は許されぬという基本姿勢を持ち続けて町づくりを進めます。予算の執行にあたっては景気の動向にも留意しながら健全財政の維持に努力します。

非行の実態にメス

道警本部の調査から——①
全般的な傾向

少年非行の数は増加の一途をたどり、全国的にみますと戦後第三のピーク期に達していると言われています。北海道警察本部では、補導の対象となった少年がいかに社会環境の影響をうけているか、また、その意識など非行の底流を把握することが、非行防止対策上極めて重要であると、昨年七月十五日から十月十四日までの三か月間（窃盗は八月十四日までの一か月間）全道一斉に、この期間に検挙補導した計七百二十名の少年にたいし調査しました。その調査内容を今月から五回にわけてお知らせします。

“面白半分”で罪を犯す

★グループで行動 犯行時に単独であったのは三六・二%と少なく、その他は何れも二人以上の共同犯でした。特に粗暴犯ではその傾向が強く八〇・五%が複数で、三人以上の場合も六四・八%におよびます。

★犯行の場所 全般的には屋内六〇・九%、屋外三九・一%となっています。各罪種で特によく多いのは窃盗の三二・五%がデパート、二七・四%が路上。粗暴犯の四六・一%が路上となっています。

★動機 動機の主なものをみますと、いわゆる“面白半分”の遊びのような気持ちで簡単に犯罪を犯している者が全体の四

- ・凶悪犯三名（強盗二、放火一）
- ・粗暴犯百二十八名（暴行六十、傷害三十七、恐喝三十一）
- ・窃盗四百八十名（万引二百五十四、車輛盗百十五、その他非侵入盗五十八、侵入盗五十三）
- ・性犯十六名（暴行二、わいせつ十四）
- ・不純異性交遊九十三名

六・九%もあり、窃盗では「面白いいから」「友人に誘われて」、「見ているうちに欲しくなった」が四二・三%。粗暴犯では、「遊ぶ金」、「友人に誘われて」、「仕かえし」が四六・一%。性犯では「性にたいする好奇心」、「女性にいたずらしてみたい」が六二・五%を占めています。

家庭環境

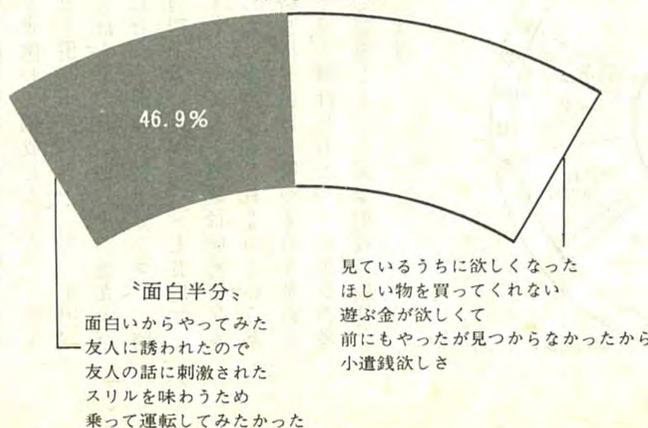
中流以上が八割も

★保護者の職業 最も多いのは会社員で全体の二八・七%、以下、労務者、公務員、漁業、農業、商業の順。保護者が無職の者は八・一%。

また、全家庭の三七・六%が共稼ぎをしています。また、全体の八二・七%は中流以上と答えており、生活に困っている者の割合は少ないようです。

★家庭の監護状況 父親がきびしい一八%、父母ともきびしい一五・二%、母親がきびしい一三・六%と親が「きびしい」とみる半面、家族全員きびしくない一一・六%、父母とも無理解・無関心が九・七%。家庭に対話がない一二・九%、家庭にもめごとが多い一〇・六%と感じている者も少

● 非行の動機



なくありません。

★毎月の小遣 毎月（定期的）に小遣いをもらっている少年は六五・七%、まったくもらっていない者二四・一%、自分で働いている。または不定期に必要な時だけもらう者が一〇・二%となっています。粗暴犯では、もらっている者が五二・三%で、各罪種中で最も低い。小遣いをもらっていない者の平均は約二千八百円でした。

酒・たばこは 自動販売機から手に入れる

★酒・たばこ たばこ(二六・八%)
酒(二・四%)、両方とも(二五・〇%)
の経験者をあわせると五四・二%にも達し
特に粗暴犯少年には、この傾向が強く八一
・三%が経験しています。

場所は六六・八%が自宅、友人の部屋な
どで飲んだり喫つたりしており、うち半分
以上の五三・五%は家族も気がついてい
るが、注意したのは、うちの七一・四%。

また、まったく注意しないもの一四・三
%、外ではやめるように注意したもの十四
・三%など、少年の飲酒や喫煙を認めてい
るようなものが二八・六%にもおよんでい
ます。

これら酒、たばこは、主に自動販売機か
ら手に入れています。直接、販売店から購
入している者が二八・一%もあり、考えさ



●未成年者に酒、たばこの販売はやめましょう
●不良行為にはしらないように大人の暖かい思いやりを

せられるものがあります。

★成人映画・ポルノ雑誌

少年たちに
成人映画とポルノ雑誌が非行と関係がある
かと質問したところ、関係あると感じたも
のは映画(一八・七%)、雑誌(一九・九
%)、テレビ・ラジオ(二〇・七%)と答
えています。

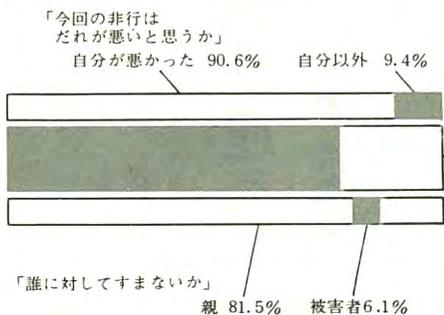
関係ないと感じたものは映画(一八・七
%)、雑誌(二〇・三%)、テレビ・ラジ
オ(三二・五%)であるが、このうち性犯
少年では「関係ある」と答えた者が三九・
六%もあり、影響が強いことがうかがわれ
ました。

強すぎる親への依頼度

★非行の反省 少年たちの九〇・六%
は自分が悪かったと感じ、七七%は今後絶
対にやらない
と答えていま
す。

しかし、「誰
にたいしてす
まないか」の
間に、八一・
五%が親と答
えており、被
害者と答えた
者はわずか六
・一%にすぎず
少年たちの親
にたいする依
頼度の強さが
わかれると
ともに、他人
のこことや与
えた迷惑のこ
とはほとんど
考えてはいな
いようです。

●自分のしたことへの反省度



77%の少年たちは今後絶対にやらないと答えている。

親子断絶



幕別中学校教諭
長 沼 勇 一

親子断絶、実に不快な響きをも

つた言葉ですね。現在は生活のテンポがめまぐるしく、また、個人の尊重という現念が、あやまつて理解されて、親が子にものを言うのに必要以上に神経を使わなければならぬような世相をうみだしています。

子供は少ないために過保護に育てられ、自己主張はするが責任はとらない。世間もそれを甘やかして黙認している。このようななかで、家庭という場で親子が交わす共通の話題がない。断絶の大きな原因は、ここにあると思います。

子供は親の考えている道とは別の方向に行くものです。それならば、それ以上の速さで親は自分の経験をいかして追いかけるべきでしょう。それには、①自分の若かったころの人生にたいする考え方を話してあげること。

世間話しやテレビの話題だけではだめ

②その考え方に従って自分がどのように生きてきたかを語ること
③現在の生活を、自分はどのように思っているかを話してあげること。
④子供をふくめて、家族のみならず幸せになるためには、どうすればよいかを話しあうこと。

⑤子供の長所、短所を卒直にあげて改善をうながすこと。

⑥親の長所、短所についても子供とざつとくばらんに話しあうことなどが考えられます。

すなわち、世間話しか、テレビの話題だけでは、ほんとうの親子の心のつながりが出来ないということです。子供たちは、そのようなことだけでは決して満足しません。そのような話しをするなら、友人の方が、ずっと楽しいのですから……。親の真剣な生活態度は必ず子供に心をとらえるでしょう。そこには、もはや断絶などは存在しないでしょう。

春は、小学生、中学生にとつても、また親にとつても、その人生進路を点検する大切な時期だと思えます。親子で、ほんとうの姿をみつめあう時だとも思います。

あなたの体力年齢は？

運動能力テストを受けてみませんか

体力に自信があると思っ
ても、年とともに「おとろえ」て
いるのです。しかし、体力のおと
ろえは自覚できず、まだまだ大丈
夫と無理をし、こんなはずではな
かった、とはじめて体力の限界を
知るようにです。

教育委員会では「自分にあつた
運動能力はどの程度か」を皆さん
に知っていただき、更に健康な毎
日をおくってもらうため、運動能
力テストへの参加を呼びかけたと
ころ、三月に大豊小学校PTAと
旭町地区婦人会の方々が、このテ
ストを受けました。

果、正確な
体力年齢が
でると、あ
らためて自分の健康管理の大切な
ことを認識していました。

参加した方々は、普段から運動
をしている方、まるっきり運動を
したことがない方々などが各種の
テストを受けました。テストの結
果、このテストは、グループ

や職場などで一定の人数がまとま
りますと実施します。くわしいこ
とは社会教育課社会体育係におた
ずねください。

篠原雅人君がソ連へ

将来性がわれ遠征

スピード
スケート

篠原雅人君(千住・白樺高一)
が三月末にソ連で開かれた国際ス
ピードスケート大会に出場しまし
た。これは高校一年生としては初
めての快挙です。

札幌中学校に在学していた時か
らスプリンターの片

鱗をうかがわせてい
ました。今年になつ
てからの成績は他の
選手をよせつけない
圧倒的な強さ。一月
に阿寒で開催され
た全国高校スピー
ドスケート選手権
では千五百秒を二
分十一秒六で走り
優勝。二月には今
年から始まる

将来が楽しみな篠原雅人君

た全日本ジュニアスピー
ドスケート選手権(参
加資格十九歳まで)
で総合第三位。同
じ二月の全日本ス
ピードスケート全
日本選手権大会
では高校歴代三位
の記録で五千七
分に七秒三の記録
で優勝。

親子工作大会で 楽しい一日

親子で協力して物を作りあげる
楽しさを味わおうと、三月五日、

各地の話題

上水道の通水式

相川

相川北地区の上水道完成通水式が二月二十七日午後、相川母と子の家で開催されました。相川北地区は比較的
に水の便が良く、永年にわたってホーム
ポンプを使用していましたが、
地下水の流水の変化と水質の悪
化から、昨年実施された上水道
本管の延長工事と同時に、地区
内の二十七戸(公住も含む)に
給水工事をおこない、完成した
ものです。



昨年行った上水道本管の延長工事

この完成によって、飲料水に
ついての問題は解消しました。
営農用水については、現在、計
画がすすめられています相川・
千住地区国営畑地かんがい事業
で解決することになっており、
「今後は地区内の環境の整備と
経営の向上に努力します」と、
完成通水式の席上、上原公区長
が力強く語っていました。

札幌福祉センターで札幌地域子
ども会育成連絡協議会(外館繁司会
長)が「親子工作大会」を開きま
した。

会場に集まった二百人の親子は
①うごくおもちゃ ②竹とんぼ
③多色版画 ④立体だこ ⑤七宝
焼ブローチ の六つのグループに
分かれて制作開始。失敗して頭を
かかえる父親、そばで笑う子
ほほえましい風景があちこちに見
られました。動くはずのおもちゃ
がちっとも動かなかつたり、会場
は一日中、楽しそうな親子の声に
包まれていました。



「さようなら」わが母校

—幕別小—新川小—西猿別小—大豊小—

4校が統合しました

閉校式を開催しましたが、参加した皆さんは、ちよつぱり寂しさを味わっていました。統合した各校の歴史は次の通りです。

幕別小学校 明治二十九年、猿別市街に私立の教育所が開設されたのが幕別小学校の前身です。この教育所が公立校になったのは明治三十一年六月ですが、明治三十九年三月に、現在の勝山医院付近に移転し、校名も幕別尋常高等小学校と改称しています。

しかし、最初から校地が狭くなることを予想し、明治四十四年から現在の小学校々地に年次計画で分教場を建設、大正二年七月に総ての工事が終り移転しました。

なお、同校を卒業した児童・生徒数は一万一千名。木村校長は十六代目の校長です。

新川小学校 新川小学校の校下は、はじめ洞寒村（現在の池田町）の管轄下であり、行政の変更により町に編入されたのは昭和二十二年十二月のことでした。

開校当時（大正元年）の校名は

三の小屋特別教授場といいました現在の校地に校舎を建築したのは昭和五年十一月、同時に上統内尋常小学校と校名を改称し独立しました。新川小学校となったのは町に編入後のことです。

卒業生の数は三百一名、佐藤校長は九代目です。

幕別小—白人小—札内南小

三組の双子が小学校へ

ことし三組の双子が、元気に小学校へ通うことになりましたのでご紹介します。

★野口光雄さん（旭町）の二男・裕次クンと三男・光次クンは幕別小学校へ。

大きくなったらスーパーカーのレーサーになるんだという社交性のある裕次クン。スーパーカーをつくる人になるという、ちよつとはずかしがりやの光次クン。「けんかしますが、一人になると猫みたいに、おとなしくなるんです」とは、お母さんの評。

西猿別小学校 幕別尋常高等小学校猿別特別教授場の創立は大正二年六月。大正九年十月に独立し校名を西猿別尋常小学校と改称現在にいたっています。

卒業生の総数は四百十五名。遠藤校長は九代目。

大豊小学校

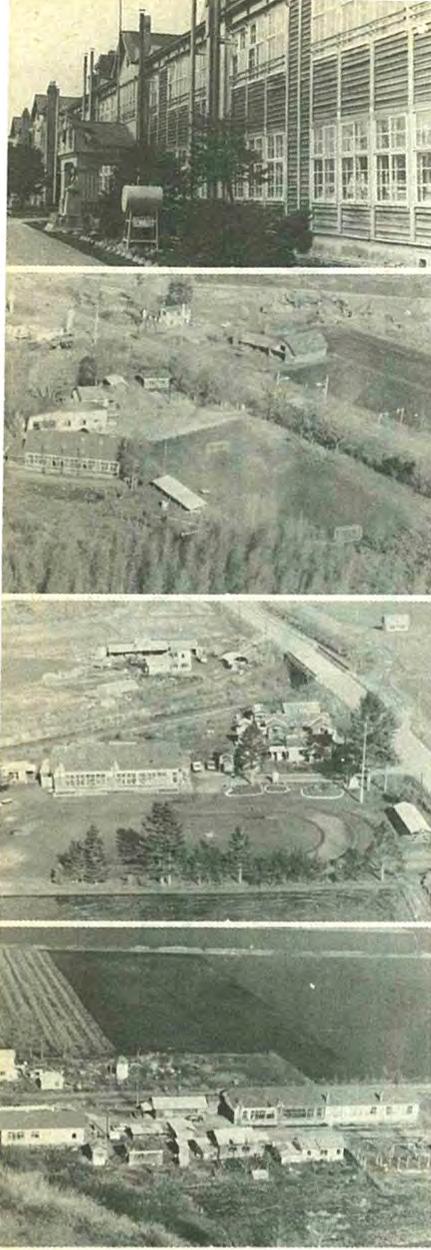
★沢田清勝さん（桜町）の二男・礼信（のりのぶ）クンと三男・孝信クンは白人小学校へ。

満一歳までは病気をしない日数えた方が——というのがウソみたいに元氣そのもの。おっとりした礼信クンと、やんちゃな孝信クンは、二人のお姉ちゃんのマスクットの存在。早く学校に行きたいと指折り教えていました。

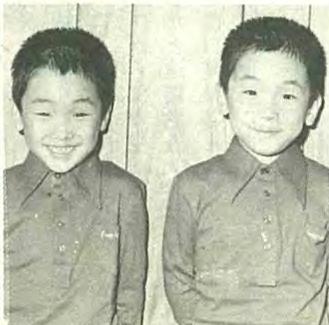
★松井正雄さん（桂町）の長女・千恵ちゃんと未欧（みか）ちゃんは札内南小学校へ。

「小さい時から二人で遊んでくれて手のかからない子でした」とお母さんは目を細める。千恵ちゃんと未欧ちゃんは、ともに健康優良児の表彰をうけたことがあるだけに健康は折り紙つき。お姉ちゃんは、バレリーナの先生に、未欧ちゃんは学校の先生になるのが夢だそうです。

大豊小学校は昭和二十二年四月に幕別小学校の分校として開校しました。昭和二十三年七月、現在地に校舎を建設、二十六年三月に独立し、大豊小学校となりました。幕小の分校当時の卒業生の数は二百二十名。寺田校長は四代目です。



松井未欧ちゃん(妹)・千恵ちゃん(姉)



沢田孝信君(弟)・礼信君(兄)



野口裕次君(兄)・光次君(弟)

使う火を消すまで離すな目と心

幼児と老人を守ろう

二十日から春の火災予防運動

四月二十日から五月九日まで、春の火災予防運動がはじまります。四月になりますと暖かい日が続くため火の仕末がおろそかになりこのため一年中で最も多く火災が発生します。

昨年一年間、道内で火災のため亡くなった方は百四十七名にも達し、特に全体の四五%にあたる十六名は幼児と老人で占められています。幼児と老人が、いかに火災に弱いかわかりになると思っています。これら幼児や老人を万一の時に避難しやすい場所に寝かせるなど、特別に考えてあげてください。

町消防署では、この運動期間中幼児と老人を火災から守るため、各家庭の立入り検査を実施しますのでご協力ください。

なお、火災予防運動に関連して次の運動も実施します。

- ▼林野火災危険期間（四月一日から六月三十日まで）
- ▼林野火災予防防強調期間（四月二十一日から五月三十一日まで）

▼東両火災予防運動（四月二十日から四月二十六日まで）

▼建築物防火指導週間（四月二十日から四月二十六日）まで

月二千七百三十円に

国民年金保険料

国民年金の保険料が、ことし四月から一カ月二千七百三十円に引き上げられることになりました。

国民年金は、老後の所得保障のほか、不幸にして障害者や母子家庭になったときに年金を支給して生活の安定をはかる制度で、年金給付は、保険料の積立金と国庫負担でまかっています。

しかし、今後の受給者数をみた場合、昭和八十五年には現在の約二倍の六百四十万人になるものとみられ、二人で一人の老人の年金をまかなうこととなります（現在

は八人で一人）

このため、現在の年金水準を維持するには月額五千円の保険料が必要と計算されていますが、加入者の急激な負担増をさけるために毎年段階的に引きあげていく方法がとられ、今回の引きあげとなりました。

学習の成果を発表

明野婦人学級

明野婦人学級（多田和子会長）が三月十日、明野近隣センターで年度末総会と一年の活動成果を発表する作品展示会を開きました。



展示会を開いた学級生のみなさん

表す作品展示会を開きました。学習が講座の時だけのものではなく、家へ帰ってから仕事の間にもコツコツと仕上げたもの。この婦人学級の特色は学級生の年齢が二十六歳から六十八歳までと幅広いこと。若いバイタリティーとおばあちゃんの知恵がとけ合っており、楽しい学習が続いています。

篤志寄付ありがとうございます

ごぞいいます

町社会福祉協議会へ：

- ▽匿名の方から千円
- ▽九本栄一さん（依田）から民謡友の会創立二十周年を記念して五万円
- ▽札幌民謡友の会から創立二十周年を記念して二万円
- ▽匿名の方から千円
- ▽藤川延男さん（途別）

町民会館図書室へ：

- ▽高橋俊一さん（元拓銀幕別支店長）から転勤にあたって図書二百冊
- ▽交通安全協会へ：
- ▽匿名の方から千円
- ▽匿名の方から千円
- ▽老人クラブ・寿会へ：
- ▽田所為治さん（南町）から母

新生活運動 展開中

出産祝、病氣見舞、餞別などは最小限にとどめ、お返しはしないようにしましょう。▼お子さんの名前の披露、全快通知などは町で用意しているハガキですませましょう。（ご希望の方は教育委員会へ）

お知らせ

老人クラブにたいする篤志寄付者のお名前を広報まぐべつに掲載していただきましたが、掲載した以外にも多くの寄付があり、このままでは公平を欠くこととなりますので、すでに連絡のありました分のみをお知らせし、以後は掲載を中止することにしましたのでお知らせいたします。（町関係にたいする寄付は今まで通り掲載いたします）

なお、慶弔記事は戸籍法のうえから問題がありますのでこれも掲載を中止いたします